



館報 まつかわ

松川町公民館報
第662号
平成30年12月15日

町の川 ⑧
雨沢川 (町谷)



第34回

松川町駅伝大会

11月4日(日) 開催



テラダパーツ

編集部が探した
気になるチームそれぞれの
感想

28年度 退団ランナーズ

今回町の駅伝大会に初めて参加させてもらいました、(株)テラダパーツです。生田工業団地内で自動車の解体と中古部品の販売をしております。

監督 4区 松尾 夢輝

当社は現在若いメンバーも多く、町の駅伝大会に参加してみよう！という事になり、メンバーは20代～40代のメンバーで個人個人が10月から練習を始めました。メンバーの中に愛知県の本社から参加してくれた人もいたので、全体練習は1回しか出来ませんでした。メンバー全員で夜と一緒に走ったりもして、チームの雰囲気も良くなり当日に挑みました。

駅伝当日は会社のTシャツを作成したのでお揃いの格好で参加しました。会社の人も応援に駆けつけてくれて、会社のイベントともなり会社としての団結力もUPしたと思います。

駅伝の結果としては、目標は「全員で完走」だったので完走も出来て、一般男子の部でも6位だったので、初参加にしてはまずまずの成績だったのではないかと思います。

駅伝後には、場所を清流苑に移しBBQを行い、朝から夕方まで、充実した1日を過ごす事が出来ました。

駅伝大会に参加し、個人個人が「走りきる！」という達成感も味わえましたし、会社として参加した事で会社の団結力も上がり、本当に参加して良かったなと思います。

来年も会社のイベントの1つとして参加したいと思います。来年も「テラダパーツ頑張れ！」と応援お願いします。

我々は消防団OBの同年の仲間達で、日頃の運動不足解消と、慰労会を楽しむために松川町駅伝大会に参加しています。

監督 大島 優美

チームの皆の力強い走りと団結力、素晴らしかったです。本当にお疲れ様でした。

1区 塚本 徹

練習不足ながらも、襷の力で何とか完走できました！松川町駅伝大会をしっかりと楽しめました！

2区 関 秀之

仲間と襷を繋ぎ、チームで走りきる達成感！今年も楽しめました。たくさんのご声援ありがとうございました。

3区 松下 健吾

この歳で古町の急坂を歩かず走りきれると思ってもいせんでした。次があるとしたら…抜かれないうに走りたいなあ。

4区 中平 ゆり

男性陣の中で紅一点、なかなかの奮闘だったのではないかと思います。皆さんのタイムの貯金のおかげです。課題は心肺機能かなあ。

5区 米山 毅彦

チームの仲間が繋いだ襷をゴールへ運ぶ、駅伝は素晴らしい競技だと改めて感じました。消防団を退団して今年で2年、まずは退団後5年を目標に続けたいと思います。

第34回 松川町駅伝大会結果



総合優勝	松陸Mix
	52分18秒

【部門別入賞チーム】

部門別	優勝	準優勝	第3位
一般男子	松陸Mix 52分18秒	松陸おやじ〜ずAチーム 57分41秒	役場駅伝部A 1時間03分42秒
一般女子	アスリートファミリー 1時間14分03秒	松陸まますず 1時間16分39秒	
中学生男子	松川蹴球3年A 54分18秒	北安松川中学校A 54分26秒	松川蹴球2年A 57分36秒
中学生女子	松陸スーパーアスリート 59分58秒	北安松川中学校 1時間06分13秒	ゆかいな女卓の仲間たち 1時間20分03秒
小学生男子	陸上アスリートジュニア 57分09秒	陸上アスリートボーイ 1時間01分50秒	ミニバス男子 1時間08分15秒
小学生女子	陸上アスリートレディ 1時間02分20秒	陸上アスリートガール 1時間11分56秒	

【個人区間優勝者】

部門	区間	1区 3.5km	2区 2.7km	3区 2.3km	4区 2.2km	5区 3.5km
	一般男子	氏名	塚本 潤	熊谷 皐	原 武司	松下 巧臣
	チーム名	役場駅伝部A	松陸Mix	松陸Mix	松陸Mix	松陸Mix
	タイム	11分30秒	9分42秒	7分32秒	8分14秒	14分35秒
一般女子	氏名	福島 知恵	宮内 加奈子	香山 美那	鈴木 佐奈枝	上田 幸那
	チーム名	松陸まますず	松陸まますず	アスリートファミリー	松陸まますず	アスリートファミリー
	タイム	15分20秒	12分55秒	13分13秒	13分19秒	16分58秒
中学生男子	氏名	吉岡 凜	丸山 祥太	勝家 峻太	笹木 来朗	横澤 静也
	チーム名	北安松川中学校A	北安松川中学校A	北安松川中学校A	松川蹴球2年A	北安松川中学校A
	タイム	11分31秒	8分53秒	8分53秒	8分47秒	14分03秒
中学生女子	氏名	佐藤 悠花	関谷 千里	熊谷 朋華	羽生 彩七	佐藤 綾花
	チーム名	松陸スーパーアスリート	北安松川中学校	松陸スーパーアスリート	松陸スーパーアスリート	松陸スーパーアスリート
	タイム	11分32秒	10分35秒	11分00秒	10分02秒	15分32秒
小学生男子	氏名	福島 圭亮	鈴木 拓斗	中平 翔	宮脇 怜雅	宮内 達矢
	チーム名	陸上アスリートジュニア	陸上アスリートボーイ	陸上アスリートジュニア	陸上アスリートジュニア	陸上アスリートジュニア
	タイム	12分12秒	10分25秒	9分30秒	10分07秒	14分44秒
小学生女子	氏名	羽生 月佳	中島 采香	湯澤 彩花	松尾 綺夏	福島 羽七
	チーム名	陸上アスリートレディ	陸上アスリートレディ	陸上アスリートレディ	陸上アスリートレディ	陸上アスリートレディ
	タイム	13分35秒	10分42秒	10分53秒	10分11秒	16分59秒

名子地区公民館

古町地区公民館

文化祭・クラブ発表・区民演芸会

11月10日・11日に名子地区公民館のクラブ発表・区民演芸会を開催しました。今年度は10日の午後から写真クラブ・生け花クラブの展示、ソフтбоールクラブの試合を行い、11日には午前9時半の開会から18演目と、終了の午後3時過ぎまで演芸会を盛大に行うことができました。歌・踊り・演奏・演武等、様々な内容で

11月11日に古町コミュニティセンターにて、古町文化祭と区民演芸会を開催しました。古町では文化祭と演芸会を隔年で開催しており、今年はその年でした。今年度は来場者数を増やすことを目的として、文化祭と演芸会を同じ日にしました。10時から開催した文化祭では、展示室に様々なすばらし



会場から大きな拍手の連続でした。会場の方では用意されたテーブルを囲み、飲食しながら区民のよい親睦の場となつたのではないのでしょうか。



い作品が並び来場者の皆さんも作品一つ一つに興味を持って見学していました。初めて出展してくれた方が何人かいて、出展数が減少している中、非常にうれしく思いました。

そして、今年度は静岡県牧之原市から18名の方々が演芸会にお見えになりました。名子地区公民館では以前から毎年交流会をしています。相互に行き来をする中で、今年度は松川町に来訪していただく年であり、演芸会を楽しんでもらうと同時に、出演までしてい



作品を見学した後は、屋台で提供した味ご飯、豚汁、焼きそば、フランクフルトを皆さんおいしそうに食べていらつしやいました。前日から準備をしてくれた社会部員の皆さん、当日手伝ってくれた青年部の皆さん、ありがとうございました。17時からは演芸会がスタートです。計画段階より出演者の確保が課題でしたが、4組の団体が出演してくれました。保育園児によるダンスで始まり、個人参加による歌、組合参加による踊り、祭典組

ただきました。演芸会の最後は抽選会を行い、多くの方に賞品が当たり、盛大のうちに終了しました。今年で42回目を数える歴史あるこの演芸会は、名子地区公民館の事業の中でも最大規模のものであり、地区館スタッフ一同、自分たちも楽しみながら、そして出演者・来場者にも楽しんでいただける場を提供できるよう気合を入れて準備してきました。このような盛り上がりの中開催できたことを非常にうれしく思います。



による獅子舞と会場を大変盛り上げて頂きました。その後、ピング大会、文化祭・演芸会の表彰式も行われ、無事演芸会を終えることができました。出演してくれた団体の皆さんありがとうございました。



今回、文化祭・演芸会を計画するにおいて、作品集め、出演者の確保が非常に大変でした。特に演芸会は、年々、出演者もそうですが来場者も減少している現状に、今後は、区民の皆さんが興味があり参加してくれる内容に変えていくことが必要だと思えます。古町地区公民館 社会部長 寺沢

最後に、協力していただいた関係者の皆様、出演していただきました方々、そして来場いただいた多くの皆様に心から感謝を申し上げます。来場またお会いしましょう。名子地区公民館主事 遠山



年末年始も だらけずスポーツ！

第39回 少年野球県大会

11月3日(土)開催
会場 飯田運動公園

○松川少年野球クラブ
準優勝



松川少年野球クラブ

第106回飯伊地区 秋季剣道大会

第106回飯伊地区秋季剣道大会が11月4日(日)に飯田武道館で開催されました。

松川剣道クラブの結果は次のとおり。

○小学生低学年男女の部
優勝

○小学生高学年男子の部
準優勝

○中学生男子の部
3位

○一般男子の部
準優勝

○一般女子の部
優勝



松川町選手のみなさん

問題
考える
権考
人を
みんな
で
仲良
く

中央小学校

2年1組

通学ろ さみしくないよ

みんないる

(宮下 こうすけ)

こまったら たすけてくれた

思いやり

(松川 ゆうだい)

友だちを はやくつくって

あそぶんだ

(澤井 たつおみ)

友だちと なかよしになって

たのしいな

(櫻井 ひなと)

男の子 女の子にも

やさしくね

(田中 たける)

なかよくね 自分の友だち

大切に

(矢澤 あいね)

「よかったね！」言われて

うれしい ありがとう

(北林 くるみ)

知らない子

しゃべってみれば お友だち

(代田 ゆうき)

ありがとう さそってくれて

うれしいよ

(山上 かえ)

友だちは ケンカをしても
なかなおり
(松下 はるき)

2年2組

学校は 人があつまる

いいばしよだ

(山田 かいせい)

友だちを たくさんつくって

うれしいな

(下さわ はると)

友だちが いっぱいおつて

たのしいぞ

(下さわ るい)

友だちは みんなのだから

なかよしだ

(くどう もあ)

なかよしは みんなのえがお

つくるんだ

(ふじた はるき)

知らない子 声をかけたら

友だちだ

(かたぎり あおい)

あいさつで みんながえがおに

つまれた

(かやま ななみ)

友だちと あそんでいると

たのしいな

(まつだ りん)

友だちは あそんでつくる

だんだんと

(ねいし なお)

ゆうじょうの ほのおもえてる

あついんだ

(しおざわ ひでひろ)

2年3組

おにいちちゃん たつきゅう

がんばれ まけるなよ

(杉本 たける)

おかあさん おいしいりょうり

ありがとう

(榎原 とらのすけ)

お友だち 親切だよ

やさしいね

(伝宝 ひな)

あの日にね かけてくれたの

ありがとう

(宮下 さゆき)

べんきょうを みんなでできて

うれしいな

(大東 みつあき)

友だちへ 遊んでくれて

ありがとう

(本田 まい)

おかあさん とても大き

おかあさん

(西尾 みく)

このクラス 友だちいっぱい

うれしいな

(宮島 りゅうのすけ)

友だちと うたをうたうと

たのしいな

(小林 ゆうな)

みんなだね たのしくあそび

たのしいね

(大野 さきな)





県公民館写真コンテスト優秀賞受賞!

宮下 徹さん

平成30年9月27日、28日に中野市で長野県公民館大会が開催され、その中の公民館写真コンテストに応募したところ、県内公民館から多数応募があつた中で見事、宮下徹さんが優秀賞を受賞されました。なんと今回が初応募、初受賞。この受賞を受け宮下さんは、「青天の霹靂のようだ。」とビックリされた様子でした。現在、本館編集部員としても活躍いただいております、毎月発行している公民館

報の表紙は、宮下さんに担当していただいております。モノクロ写真の公民館報を発行していた20代の頃から編集部員として活動され、今でも心に残る、素晴らしい写真を撮り続けられた結果が、今回の受賞に繋がったのではないかと思います。

来年は、「ぜひ」というより、「絶対に」最優秀賞を受賞していただきたいと思っております。そして、これからも、この公民館報の表紙を、飾り続けていたいただきたいです。



改めて、受賞、おめでとうございます。

PS. 現在、川シリーズとして表紙を飾っております。どこかに表紙になりそうな川がありましたら、公民館まで情報をお寄せください。お待ちしております。

受賞作品

「公民館で鬼は外」



短歌

清しき光 堀本 眸子 (諏訪形)

靴の底すり減るまでに取材する

子の書きし記事スクラップする

童謡の世界を描く原田泰治の絵の中の

童は吾かも知れぬ

夫と観る「銀座の恋の物語」

若き裕次郎甦えりくる

幼連れ日毎電車に手を振れば

白き手袋で敬礼返る

子の書きし記事の載りたる新聞は

清しき朝の光連れ来る

あきのせむひん

かたぎり ゆい

学校で、あきのせむひんをつくりました。

どんぐりのうさぎさんのぬみは、たねでできています。かおとからたは、どんぐりでできています。どんぐりのほうしを、うさぎさんのほうしにしました。

くまさんは、はちみつシコーヌをもっています。ほうしをかぶっています。しつほのかたちは、まるいです。みみのかたちも、まるいです。

ねこのおつさまには、小さいころにできたよこれがついています。おつかんには、りほんがついてます。しつほは、ながいです。しつほにはリボンがついて

ています。ひげは、ながいです。ちよつとむすかしかつたけど、またやりたいです。

しらせたいな、見せたいな つかはり とおひい 学校のなかにわたに「リボン」といううさぎがいます。

あしのいろは、じろです。みみのいろは、くろとちやいろです。かおのいろもくろとちやいろです。

からだのかたちは、まるくてふわふわしています。

びんびんはねてはります。キャベツをくわえて、はなれてたへています。うさぎのえさも、もくもくしてたへます。



声

ふ〜る日本！ 大鹿歌舞伎！

下伊那郡北部公民館合同ツアー

「いやあ、大鹿歌舞伎がこれほど素晴らしいものだと思わなかった！たいしたものだ！」

「見得を切ったところがカッコいい！」

「女形の泣き方が上手！」

「高校生も出ていて将来が楽しみ！」

「三味線を弾きながらの太夫の語りがすごく上手で、分かりやすかった！」

「この間名古屋の御園座へ歌舞伎を見に行ってきたけど、大鹿の歌舞伎は本職に負けないくらい上手！」

「前から大鹿歌舞伎を一度は見たいと思っていただけで、見たらまた見たくなった」

これは10月21日に下伊那郡北部公民館合同の事業として行われた「大鹿歌舞伎鑑賞ツアー」で歌舞伎を鑑賞された方々の感想です。

毎年春と秋に大鹿歌舞伎が行われますが、当日は檜や杉など豊かな自然に囲まれた市場神社で約千人の観客が見守

るなか歌舞伎公演が行われました。

大鹿歌舞伎は250年以上の長い伝統があります。江戸時代から明治時代には歌舞伎の上演を厳しく禁じられたこともありますが、その弾圧をかいぐりながら、村人の暮らしの大事な核として脈々と受け継がれてきており、昨年度の重要無形民俗文化財に指定されました。歌舞伎を演じる人や太夫の弾き語り、舞台装置や衣装等運営に係る人もすべて村民が行っています。

当日の演目は歴史上の人物に関係させたような「絵本太功記十段目 尼ヶ崎の段」(藤原道兼)と「玉藻前旭袂道春館の段」(武智光秀)で、さらびやかな衣装をまとい歌舞伎独特の言い回しで見得を切る所作にたくさんのおひねりが飛んでいました。



市場神社に集う、1000人余の観客



幕間には豪華歌舞伎弁当

2022年

12月に入りクリスマスが近づいてくると小学生の2人の子ども達から、サンタさんへのお願い事として、プレゼントのリクエストを承るようになる。サンタさんの存在に薄く感じているものの、プレゼント欲しさから、この時期だけは普段よりも行いが良くなるあたりが可愛らしい。そもそもクリスマスプレゼントって何なのだろうとふと疑問に思う時があるが、最近はずいともたちが一年間頑張った褒美なのかと思う。毎日文句も言わずに学校に行き、だんだん難しくなる宿題に悩みながらも毎日挑戦して一年を過ごす。プレゼントの金額設定では、年末にかけての懐事情から夫婦で若干揉めることもあるが子どもたちの一年の頑張りに最大限希望を叶えてあげたいと思う。

大東 洋文

公民館報

「まつかわ」

第 662 号

平成30年12月15日

発行所 松川町公民館

責任者 小 沢 誠

編集人 公民館編集部

Tel 36-2622

e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。